



消防千葉

2020 No.574 令和2年1月号

令和2年1月1日 編集兼発行人
千葉県市原市菊間 783-1 千葉県消防学校内
公益財団法人千葉県消防協会会長 石橋 毅
TEL0436(37)1710
郵便番号 290-0007
ホームページ <http://business4.plala.or.jp/chisyo/>
メールアドレス chisyokai@bz04.plala.or.jp



うわがししょう
上川岸小公園（さわら町屋館）（香取市佐原）香取支部

年頭のごあいさつ



明けまして
おめでとうございます。



謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

県内 33,000 有余名の消防職員、消防団員並びに関係者の皆様におかれましては、日夜、火災や地震・風水害などの各種災害から、地域住民の生命、身体及び財産を守る責務を全うするため、献身的に職務に精励されていますことに、深く敬意と感謝の意を表します。

昨年は、記録的暴風となった台風 15 号、19 号及び 10 月 25 日の大雨により、屋根の損壊、浸水など 6 万件を超える住家被害や広範囲で長期にわたる停電や断水など、千葉県に甚大な被害が生じ、多くの方が被災されました。

被災地では、多くの消防職団員が、災害現場での救助活動、倒木などの除去作業、ブルーシート張りなどの家屋応急補修、災害警戒活動、通電火災や避難情報などの広報活動、安否確認や声かけなどにあたられ、県民の力になっていただき、改めて、心から感謝申し上げます。

県では、本格的な復旧・復興の取組を総合的かつ計画的に推進するとともに、市町村の取組を支援するため、11 月 13 日に、「千葉県災害復旧・復興に関する指針」を策定しました。この指針を基に、被災した県民の方々が少しでも早く元の生活に戻り、安心して暮らしていただけるよう、地域に寄り添いながら、国や関係機関と連携し、オール千葉で取り組んでいくところです。

災害が大規模化、多様化している今、県民すべての願いである「安全で豊かなくらしの実現」のために、消防に対する県民の期待はますます高まっており、消防防災体制の更なる強化が求められています。

今後とも、消防関係の皆様とともに地域防災力の更なる向上を図り、災害に強い千葉県づくりに取り組んでまいります。

結びに、本県消防のますますの御発展と、皆様の御健勝、御活躍をお祈り申し上げまして、年頭のごあいさつといたします。

令和 2 年元旦

千葉県知事 森田 健作

年頭のごあいさつ



令和2年の輝かしい新春を迎え、
謹んで年頭の御挨拶を申し上げます。



消防職・団員並びに消防関係の皆様には、常日頃、地域の安心と安全を守るため、地域防災の最前線に立ち、日夜献身的な活動を続けられていることに、心から敬意を表します。

また、平素から当協会の運営や活動に対し、格別の御支援・御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、自治体消防は、関係各位の御努力により、各時代の要請に応えつつ、着実な発展を遂げ、今や地域住民に最も身近な防災機関として住民から多大な信頼と期待が寄せられています。

こうした中で、東日本大震災以降も全国各地で想定外の自然災害が多発しており、昨年は、千葉県でも台風15号や記録的大雨等により甚大な被害が発生したところであり、献身的にその対応に当たられた皆様に、改めて感謝を申し上げます。

千葉県消防協会といたしましても、東日本大震災後の我が国の消防防災体制のあり方を示す「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」に基づき、快適で安全・安心な郷土づくりのために、各地の消防団が活性化し、常備消防と協力して、消防活動がより安全で迅速なものとなりますよう、さらに努力してまいります。

昨年を振り返りますと、11月に横浜市で開催された第24回全国女性消防操法大会では、浦安市女性消防隊が出場し優良賞を勝ち取りました。千葉県代表として気迫に満ちた操法演技を披露し、その名を全国に知らしめました。

また、平成26年度に浦安市で開催された全国女性消防団員活性化ちば大会を契機として、毎年開催している女性消防団員活性化シンポジウムを11月に開催しました。多数の皆様にご参加いただき大いに盛り上がったところであり、各消防団の団員確保対策の一助となれば幸いです。

令和となって初めての新年を迎え、気持ちも新たに本県消防発展のため、防火防災思想の普及啓発、消防団員の確保策の検討、消防団の活性化、消防職・団員の福利厚生促進等に全力で取り組んでまいりますので、御支援・御協力を賜りますとともに、御指導・御鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

結びに、本年が平穏無事な一年でありますように、また、本県消防の益々の御発展と皆様の御健勝、ご多幸を心から祈念いたしまして、年頭のごあいさつといたします。

令和2年元旦

公益財団法人千葉県消防協会会長
千葉県少年婦人防火委員会会長

石橋 毅



明けましておめでとうございます

香 取 支 部

香取広域市町村圏事務組合

香取市消防団長

齋藤浩勝

神崎町消防団長

遠藤栄治

香取広域市町村圏事務組合

多古町消防団長

熊澤信宏

香取広域市町村圏事務組合

東庄町消防団長

岩瀬 隆

海 匝 支 部

銚子市消防団長

芝岸 弘

匝瑺市消防団長

秋山忠史

旭市消防団長

鈴木 格

山 武 支 部

東金市消防団長

植松一夫

山武市消防団長

土屋博文

大網白里市消防団長

北田宏彦

九十九里町消防団長

古川克俊

芝山町消防団長

萩原貴男

横芝光町消防団長

須合一嘉

長 生 支 部

長生郡市広域市町村圏

組合消防団長

小高一夫

夷 隅 支 部

勝浦市消防団長

渡邊浩臣

いすみ市消防団長

荘司正博

大多喜町消防団長

齋藤信一

御宿町消防団長

井上和美

安 房 支 部

館山市消防団長

吉野隆志

鴨川市消防団長

佐藤則泰

南房総市消防団長

君塚弘和

鋸南町消防団長

大胡昌広

君 津 支 部

木更津市消防団長

地曳貞夫

君津市消防団長

小原幸春

富津市消防団長

石井輝之

袖ヶ浦市消防団長

佐久間貢

千 葉 県

防災危機管理部長

岡本和貴

消防課長

久本 修

消防学校長

淡路武夫

千 葉 県 消 防 協 会 準 会 員

一般社団法人千葉消防設備協会

鬼怒川ゴム工業株式会社

日本曹達株式会社 千葉工場

株式会社 MORESCO 千葉工場

丸善石油化学株式会社 千葉工場

AGC株式会社 千葉工場

コスモ石油株式会社 千葉製油所

住友化学株式会社 千葉工場

JXTGエネルギー株式会社

三井化学株式会社 市原工場

日立化成株式会社 五井事業所

デンカ株式会社 千葉工場

日本中央競馬会 中山競馬場

流山キックマン株式会社

成田国際空港株式会社

空港運用部門保安警備部

成田山新勝寺

日華化学株式会社 関東工場

三井化学株式会社 茂原分工場

双葉電子工業株式会社

広栄化学工業株式会社 千葉工場

富士石油株式会社 袖ヶ浦製油所

NAAセーフティサポート株式会社

(順不同)



います

令和2年元旦



公益財団法人千葉県消防協会

千葉県消防協会評議員

公益財団法人千葉県消防協会 顧問会役員等

県下市町村消防団長

最高名誉顧問	倉田寛之
特別顧問	石井利孝
会長	石橋 毅
副会長(消防長会)	兼卷重義
同(東葛飾支部長)	小田山博史
同(海匝支部長)	鈴木 格
同(印旛支部長)	齊藤弘一
同(夷隅支部長)	渡邊浩臣
理事	河上 茂
同(千葉支部長)	高橋章夫
同(香取支部長)	齋藤浩勝
同(山武支部長)	植松一夫
同(長生支部長)	小高一夫
同(安房支部長)	君塚弘和
同(君津支部長)	小原幸春
同(消防長会)	杉田昭一
同(消防長会)	高橋広一
同(県消防課長)	久本 修
同(県消防学校長)	淡路武夫
専務理事	玉井日出夫
常務理事	安西 隆
監事(東葛飾支部)	川上英明
同(印旛支部)	川上賢二
同(消防長会)	宇田川智久
同(公認会計士)	草雄信久

千葉支部	小柳勝則
同	佐藤 薫
東葛飾支部	北野浩一郎
同	井戸知一
印旛支部	須藤達也
同	村島義則
香取支部	本宮弘資
同	熊澤信宏
海匝支部	菅澤信博
同	秋山忠史
山武支部	佐久間健
同	北田宏彦
長生支部	東條秀明
同	長谷川秀一
夷隅支部	東條 薫
同	莊司正博
安房支部	石崎昌史
同	吉野隆志
君津支部	岩崎 脩
同	石井輝之

相談役	田中榮一
同	松島 洋
同	金坂光一
同	三代川利男
同	金子 裕
同	目良和夫
副会長	秋元浩司
同	吉野正壽
同	内藤 肇
同	石井友治
同	石渡幸雄
同	五木田祥一
同	飯高健次
同	畔蒜晴夫
同	廣田元一
監事	伊澤寿男

千葉支部	
千葉市消防団長	佐藤 薫
習志野市消防団長	池田 博
市原市消防団長	大野藤夫
八千代市消防団長	高橋章夫
東葛飾支部	
市川市消防団長	安達 博
船橋市消防団長	井戸知一
松戸市消防団長	小嶋 功
野田市消防団長	染谷賢一
柏市消防団長	小田山博史
流山市消防団長	小倉邦裕
我孫子市消防団長	吉田喜一郎
鎌ヶ谷市消防団長	川上英明
浦安市消防団長	大川三敏
印旛支部	
成田市消防団長	村島義則
佐倉市消防団長	板倉和雄
四街道市消防団長	塚本正英
八街市消防団長	齊藤弘一
印西市消防団長	川上賢二
白井市消防団長	中村教雄
富里市消防団長	秋葉政則
酒々井町消防団長	関根勇夫
栄町消防団長	根本貴博



令和元年度 消防功労者等の決定

消防業務または消防行政などに功労のあったもの及び消防の永年勤続者に対して、(公財)日本消防協会と(公財)千葉県消防協会から表彰する消防功労者等がこのたび決定しました。令和元年度は、1,389人が受章されます。

- (1) (公財)日本消防協会長表彰 令和2年3月3日(火)
日本消防会館 ニッショーホール
- (2) (公財)千葉県消防協会長表彰 令和2年3月24日(火)
青葉の森公園芸術文化ホール

支部別消防功労者等一覧

令和元年10月25日現在

	千葉	東葛飾	印旛	香取	海匝	山武	長生	夷隅	安房	君津	協会	合計
日本消防協会長	35	100	41	10	12	15	15	8	15	25		276
特別功労章												0
特別表彰まとい												0
表彰旗			1									1
竿頭綬												0
功績章(一般)	4	7	6	2	2	3	2	2	2	3		33
功績章(女性)	1											1
精績章(一般)	10	16	13	6	5	7	4	5	6	7		79
精績章(女性)		1										1
勤続章	20	76	21	2	5	5	9	1	7	15		161
優良女性消防隊												0
優良女性消防隊員												
永年勤続職員表彰												
千葉県消防協会長	146	244	232	53	69	111	50	59	66	83		1113
出初式	64	100	85	35	33	46	25	29	35	42		494
功労章	16	25	21	9	8	12	6	7	9	10		123
精勤章	48	75	64	26	25	34	19	22	26	32		371
千葉県消防大会	82	144	147	18	36	65	25	30	31	41		619
特別功労章	1	2	2	0	0	1	1	1	1	1		10
永年勤続功労章	43	75	81	10	18	36	12	14	15	21		325
功績章	4	7	6	2	2	3	2	2	2	3		33
表彰	個人											0
	団体		2			1						3
感謝状	ア	34	58	58	6	16	24	10	13	13	16	248
	イ											0
合計	181	344	273	63	81	126	65	67	81	108		1389

令和元年度女性消防団員活性化シンポジウムの開催

令和元年11月27日（水）にホテルポートプラザちばを会場として、公益財団法人千葉県消防協会が主催し、千葉県の後援により、令和元年度女性消防団員活性化シンポジウムが開催されました。県内から、約150名の女性消防団員等が参集しました。

消防協会を代表し、石橋会長から開会の挨拶があり、後援をいただいた千葉県防災危機管理部消防課久本課長から挨拶がありました。

続いて、公益財団法人市民防災研究所理事池上三喜子氏から、「地域防災の向上を目指して～地域で輝く女性消防団の取り組み～」と題して基調講演が行われました。

池上三喜子講師は、国土交通省無電柱化推進のあり方検討委員会委員、東京都防災会議委員、東京都「女性視点の防災ブック」編集・検討委員会委員長など国や地方公共団体の防災関連の委員を務められており、現在は講演活動を中心に情報提供を行っているほか、阪神・淡路大震災、新潟県中越沖地震、東日本大震災、常総市鬼怒川水害、糸魚川市駅北大火などの災害調査を行なわれ、防災は、毎日の行動や習慣にちょっとした工夫や発想を加えるだけで、防災が暮らしの中ではじまると提唱しておられます。講演では、台風15号、19号など千葉県でも多くの災害が発生しましたが、台風が接近する前には、水と食料は最低1週間分を備える。自転車やゴミ箱などは飛ばないように固定する。ガラス飛散防止フィルムを貼る。懐中電灯、ランタン、乾電池等を準備し、スマートフォンやPCは事前に充電するなど分かりやすく説明を頂き大変好評でありました。

引き続き、君津市消防団、山武市消防団、栄町消防団からそれぞれ活動事例が報告されました。既に地域の幼稚園などに出かけて防災思想の普及啓発事業を展開するなど豊富な活動実績を有している消防団もあり、これから積極的に活動に取り組むという決意表明をした消防団もありました。

最後に、池上講師も参加された情報交流会が行われ、県内の女性消防団員が一堂に会した機会を捉え、あちこちで所属の団を超えて話が弾み、写真撮影などの交流が図られました。



石橋会長挨拶



久本消防課長挨拶



池上三喜子講師



君津市消防団



栄町消防団



山武市消防団

令和元年度 消防団員指導員研修の開催

(11月16日(土)～17日(日))

新入団員や比較的経験の浅い消防団員の教育訓練にあたる消防団の副団長、分団長など幹部を対象にした指導員の養成研修が、11月16日から17日の1泊2日の日程により、千葉県消防学校において行われました。

研修には27所属、43名が参加し、16日9時から入校式が行われ、国歌斉唱、入校生指名点呼の後、石橋消防協会長の式辞、淡路県消防学校長の挨拶がありました。

その後、「研修指導・住民指導」や「幹部の心得」などの講義を受け、午後からは屋外訓練場において「訓練礼式」及び「火災防ぎょ・水災活動」の現地訓練を行いました。

宿泊は千葉みなとの「ポートプラザちば」で、バスによる送迎が行われました。

17日は、8時半からの朝礼に続き、「訓練礼式」「救助・救命活動」及び「火災防ぎょ災害情報収集・伝達」の研修を行い、午後3時半からの修了式で、全員が修了証書を受けて 全課程を無事修了しました。



石橋会長式辞



淡路消防学校長挨拶



訓練礼式



救命・救助活動



火災防ぎょ訓練



集合写真

「全国女性防火クラブの集い」及び 「応急手当普及啓発推進会議」

君津市婦人防火クラブ会長 柳田 清香

「全国女性防火クラブの集い」が東京ホテルポール麹町において北海道から沖縄県まで全国集いに約130名の出席者により10月28日・29日の2日間に亘って開催されました。

主催者挨拶として秋本敏文日本消防協会会長からのご挨拶がありました。来賓挨拶として総務大臣代理長谷川様よりいただきました。その後9名の方が定例表彰を受けました。



◆ 講 演

- ・「ホンネとホンキで必ず来る震災を乗り越える」

名古屋大学減災連携研究センター長 福和 伸夫 氏

- ・「大規模災害に備える」

総務省消防庁防災課長 小谷 敦 氏

- ・「住宅防火対策に係る最近の取り組み等」

総務省消防庁予防課長 白石 暢彦 氏

- ・「女性の視点をいかした地域防災」

兵庫県立減災復興政策研究科 阪本 真由美 氏

以上4名の方々の講演を聞きました。

ここまでのお話を拝聴し、自助・共助・公助が大切だと思いました。

女性の立場で①女性の被害②避難所の課題③女性の視点からの避難所④避難所運営等協働型である。

2日目は、第20回応急手当普及啓発推進会議について講演を聴きました。また、各都道府県女性防火クラブ連絡協議会活動の一層充実強化と地域間の連携を図る研修会等を実施。宮城県防火クラブ連絡協議会、静岡県女性防火クラブ連絡協議会の活動発表がありました。

女性防火クラブの交流と活動内容等の情報交換などを行い、親睦を深め、顔の見える関係を築くことができました。

二日間の講演会、大変勉強になりました。



全国消防協会秋本会長



消防庁林長官



わが町の消防団 ① 松戸市消防団

松戸市は、都心から20km圏内に位置し、千葉県内の東葛飾地域（北西部）の一翼に位置しています。西は江戸川を境に東京都葛飾区、埼玉県三郷市と接し、南は市川市、東は鎌ヶ谷市、東から北にかけて柏市、流山市と接しています。市域面積は61.38km²で東西11.4km、南北11.5kmとほぼひし形状の広がりとなっています。

また、古来、交通の要衝にあり、江戸時代には宿場町として栄えるなど古い歴史を誇る町です。その面影を残す多くの古刹・名刹があり、国・県の指定文化財が残されています（国指定文化財7件、千葉県指定文化財5件、市指定文化財42件）。

我が松戸市消防団は、小嶋功団長以下559名、1団10方面隊36個分団で構成され、消防ポンプ自動車8台、小型動力ポンプ積載車34台を配備し、活動しています。

1年間の主な行事を紹介しますと、5月には、水防演習、消防団の基礎となる規律等を学ぶ新任団員・新任幹部団員研修・幹部訓練、7月には市内消防操法大会の夏季特別訓練大会があり、昼



夜を問わず仕事の合間を縫って、厳しい訓練を行っています。また、春季・秋季火災予防運動及び年末年始火災特別警戒を行い、1月には、松戸市消防団と松戸市消防局のほか、市内各消防関係団体や事業所が参加して行われる消防出初式があります。

また、地域住民の災害対応力を強化するため、町会・自治会が主催する地区防災訓練で応急手当や消火器の取扱い訓練、平成30年に発足した小学4年生から高校3年生で構成する松戸市少年消防クラブのクラブ員に規律訓練や軽可搬ポンプ取扱い訓練を指導するなど、老若男女問わず、地域住民からの厚い信頼を得ています。

消防団は全国的に団員数の減少や団員の就業形態の変化など、様々な課題に直面しています。松戸市消防団においても例外ではなく、団員を確保する対策として、広報媒体、消防音楽隊を活用しての入団促進や消防団員自らが入団募集を行うほか、消防団を応援する「松戸市消防団応援の店」を設置しました。現在のところ、ガソリンスタンド23店舗、物品販売店4店舗、飲食店1店舗で身分証を提示することにより、割引サービスなどが受けられます。

今後も松戸市消防団は、消防団員の確保をはじめ、地域防災力の充実強化・活性化を推進し、地域防災力の中核的存在として、住民の安心・安全を確保するため、日々邁進してまいります。



また、地域住民の災害対応力を強化するため、町会・自治会が主催する地区防災訓練で応急

また、地域住民の災害対応力を強化するため、町会・自治会が主催する地区防災訓練で応急

**松戸市
消防団
応援の店**

**当店は
松戸市消防団を
応援しています!**

わが町の消防団 ② 富里市消防団

富里市は、明治22年、町村制の施行によって十三の村が集まり「十三の里(村)」から富里村と命名。昭和46年に東関東自動車道が開通し、人口が急激に増加。昭和60年には町制を施行。その後も人口は増加を続け、平成14年4月1日には千葉県で33番目の市「富里市」として新たなスタートを切りました。

県北部の北総台地の中央部、東西約10キロメートル、南北11キロメートル、面積53.88平方キロメートルを有し、東京都心から東に50～60キロメートル圏、成田空港からは西に4キロメートルほどに位置し、高崎川・根木名川の源をなし、肥沃な農地や自然環境にも恵まれ、首都近郊の



食料供給基地として農業も盛んです。中でもスイカは全国有数の特産物として名を馳せ、毎年6月に開催される「富里スイカロードレース大会」には、全国からたくさんのランナーが集まります。

さて、当市の消防団は、今年度から新たに秋葉政則団長の下、団幹部が新体制となり、19分団、総勢377名で構成されており、団本部指揮車1台、消防ポンプ自動車9台、小型動力ポンプ積載車11台の合計21台の消防車両を配備し活動しています。そして、団員たちは「自分たちの地域は自分たちで守る」という使命感を持ち、防災のリーダーとして日夜消防活動に従事しています。

本年の主な行事としては、1月に多数の来賓をお招きして開催した消防出初式では、分列行進や消防団車両の点検など団員の士気高揚と団結力強化を図りました。3月には、春季火災予防運動の一環として警戒巡視、5月にはポンプ点検を含め消防団員の基礎となる規律訓練を行い、また救急知識取得に努めるため、消防職員から普通救命講習を受講しました。8月には管轄警察署から講師を招聘して「安全運転講習会」を開催し、緊急走行時などの指導を受けました。



9月、10月は、大型台風が相次いで千葉県を通過し、強風や記録的な集中豪雨等による被害が県内随所で多発するなど、当市においても過去に類を見ない甚大な被害が発生しました。消防団員の中には、自ら被災した身でありながら、倒木の撤去作業や広報活動など、懸命な活動を行った者もあり、住民はその姿を見て、大災害ほど地域に密着した消防団活動の重要性を広く認識されたと感じております。

全国的な課題となっている就業構造の変化や消防団員数の減少、消防団員のサラリーマン化など、当市においても様々な課題に直面しています。現在は、地域防災の担い手である消防団員の確保が年々難しくなっており、消防活動の必要性を地域住民にしっかり伝えるため、また消防団員確保を図るためにも、今後は若い世代が入団しやすい環境づくりに積極的に取り組み、消防団活動のPRも広く実施してまいりたいと思います。そして、これからも常備消防と一丸となり、災害に強いまちづくりを目指していきます。

東 西 南 北

第 6 回救急活動想定訓練競技会

船橋市消防局

船橋市消防局では、傷病者の病態に応じた質の高い病院前救護に必要な知識及び技術の習得を目指して、「第6回救急活動想定訓練競技会」を10月30日(水)～11月1日(金)に実施しました。

この競技会は、特別救急小隊を除く市内の救急隊42隊(14隊×3部)を対象とし、心肺停止前の静脈路確保、自動式心臓マッサージ器の使用などに重点を置いた事案を想定として、制限時間内でどれだけ効果的な活動ができているかなど総合的な技術力を競いました。

競技会の審査については、各署の管理職職員が、接遇などの隊活動の審査を行い、4人の指導救命士が、隊長、隊員、機関員、全体評価に分かれて、観察、処置及び病態判断などの審査を客観的に評価し、各審査の合計点で各日順位を決定しました。

当市消防局では、これからも指導救命士を核とした救急業務に携わる職員の教育・訓練等に取り組み、市民のニーズに応え、誰からも信頼される救急隊員を育成してまいりたいと考えております。



冊子送付で違反是正を推進

松戸市消防局

松戸市消防局第三方面本部予防担当室では、秋季火災予防運動行事の一環として、定期査察及び消防用設備点検結果報告において覚知した防火対象物の違反是正を推進するため、違反対象物の関係者に冊子「消防法令適合へのご案内」を送付しました。

この冊子は、現在消防法令違反となっている建物の関係者に、そのリスクと改善策を正しく理解していただき、一日も早く消防法令に適合する建物にしていただくために、本年8月に作成したものです。

冊子を送付した建物の関係者から、多くの問い合わせや具体的な改修計画の相談があり、違反是正推進に効果をあげています。



いちほら火災予防フェア

市原市消防局

市原市消防局では、令和元年11月9日(土)から11月15日(金)の間、令和元年度秋季全国火災予防運動が実施されることに伴い10月27日(日)、市内の大型商業施設において、「いちほら火災予防フェア」を開催し火災の発生及び火災による死傷者の低減並びに予防救急思想の普及を目的に、予防広報活動を実施しました。約1000人の来場者に火災予防等の重要性の呼びかけを実施しました。

また、市原市において台風15号、19号により被災された市民のための義援金を受け付け、多くのご協力を頂くことが出来ました。



東 西 南 北 令和元年度 初期消火大会 市原市防火安全協会

令和元年10月30日(水)、市原市防火安全協会主催による初期消火大会が会員事業所から32事業所、97人の参加により実施されました。

この大会は、火災発生時にその被害を最小限に防止するため、必要な初期消火活動が迅速かつ的確に出来るよう実践的な消火訓練を行い技術の向上を図るものです。

競技種目は、消火器の部・屋内消火栓の部・消防車両の部の3部構成となっており、参加者の白熱した競技が実施されました。



東 西 南 北 秋季全国火災予防運動に伴う防火キャンペーンを実施 船橋市北消防署

船橋市北消防署では、秋季全国火災予防運動に伴い、地域の皆さんと一体となった防火キャンペーンとして「消防ふれあい広場」を11月9日(土)に開催しました。

当日は秋晴れの中、多くの方が来署され、普段は立ち入ることのできない消防署内を探検し、スタンプラリーをしながら防火映画、ちびっこ防火衣装着、水消火器体験、地震体験、火災予防相談、消防車の体験乗車など、消防の仕事や火災予防を学ぶことができ、防火・防災に対する意識の高揚が図られました。



東 西 南 北 プロレスラー蝶野正洋選手と一緒に応急手当普及啓発を実施 習志野市消防本部

習志野市消防本部では、令和元年11月9日(土)イオンモール津田沼店にて、プロレスラー蝶野正洋選手と応急手当普及啓発イベントを実施しました。

蝶野正洋選手は日本消防協会「消防応援団」としても御尽力をいただき、日頃より地域防災及びAED普及啓発活動に取り組んでいただいております。このようなことから、この度、蝶野選手、習志野市消防団と協力して心肺蘇生法及びAEDの使用方法について会場全体で学び、知識の向上を図りました。

また、イオンモール津田沼店については各店舗従業員向けに、計画的に普通救命講習会を実施していただき、受講者数等が当消防本部認定要件を満たしたことにより、あわせて応急手当協力事業所の認定証を消防長より授与しました。



東 西 南 北 令和元年度火災予防ポスター展表彰式

佐倉市八街市酒々井町消防組合

当組合では令和元年11月12日に火災予防ポスター展表彰式を開催しました。

佐倉市八街市酒々井町消防組合及び佐倉防火安全協会共催で、火災予防の普及を図るため、小学生に火災予防に関するポスターの募集をして、組合管内の小学校30校から600点の作品の応募がありその中から7点の作品が特別賞に選ばれました。



日々の動き

防災危機管理部／消防協会 共同編集

令和2年1月

- 1月 6日 仕事始め
- 24日 婦人防火研修会
- 5日 } 令和2年出初式
- 2月9日 }



2019年度 全国統一防火標語
「ひとつずつ いいね！で確認 火の用心」

<表紙の説明>

上川岸小公園 (さわら町屋館) (香取市佐原) 香取支部

江戸時代や明治時代の商家が残る香取市佐原地区の重要伝統的建造物群保存地区に位置する上川岸小公園は観光休憩所として平成31年4月にオープンしました。伝統的建造物に倣った意匠で建築された町屋風建物です。内部には休憩スペースだけでなく、カフェやアトリエ、ワークショップ、着物で町歩き体験ができる店舗も営業しています。また、週末には香取市農家の野菜を販売するマルシェが開催されるほか、季節等に合わせた多様なイベントも開催され、地元住民や観光客が集まる憩いの場となっています。

